



【大学連携講座Ⅰ（造船系）】

《目的》

普段の学校の授業では受けることのできない、大学教授等による講義を受け、最新の技術や高度な技術への理解を深めるとともに、学ぶ意欲を向上させる。

《実施内容》

広島大学 小瀬 邦治 名誉教授による講演

《取組》

- 日 時 平成28年7月4日(月) 13:50～
- 場 所 今治工業高等学校 記念館1F会議室
- 対 象 機械造船科1年生 40名
- 講 演 「今日の造船業とその技術」

- ・操船シミュレータ（世界で最初に小瀬名誉教授が開発）
- ・産業技術の発展と経済成長
- ・20世紀における造船業の歴史的変遷
- ・日本造船業の今後の課題
- ・総合工学と一般工学 等

《生徒の感想・学んだこと》

- ・私は講演を聴いて、造船に興味を持つことができました。将来、造船会社に就職して、海外でも使われるような船を造ることが目標となりました。
- ・今後どのように勉強していけばよいのか明確になりました。これからの日本の船が進歩するよう、今から精一杯取り組んでいきたいと思いました。
- ・「しんどいことはあったが、迷ったことはない。」という言葉がとてこよかったです。私もそんなことが言える人間になりたいと思いました。
- ・1日1時間でいいから勉強する。それを1年間続けると約360時間、10年続けると約3600時間勉強したことになる。それぐらい勉強すれば技術が奪える。」という言葉が、僕の心にグサッと刺さりました。

《成果・今後の課題》

- ・大学名誉教授である小瀬先生の講演を聴いて、生徒は造船業への興味・関心が深まった様子でした。また、講演後に小瀬先生がお話しくださった内容が、生徒一人一人の心に響いたようで、講演後の感想文からは、生徒の学ぶ意欲が高まっている様子をうかがうことができました。
- ・今回の取組を、今後の学習へとつなげていきたいと思えます。

